

生産局長賞(学校給食・社員食堂部門)

応募者: 中津川市立西小学校

メニュー: 地域で育つなかつっこメニュー

(麦ごはん、牛乳、ふるさとカラフル
あげに、チコリ入りごまあえ など)

提供先: 中津川市立西小学校

(岐阜県中津川市)



児童が苦手なゴーヤやピーマンを、南瓜やパプリカと併せて彩りよく苦みを抑えた味付けになるように工夫している。また、地元産の米で作った米粉を揚げ物の衣に使うなど学校給食で米粉を使用することにより、米の消費拡大にも寄与している。

<取組内容>

1 生産者との交流

- 社会科や総合的な学習の時間の中で、地元の農業に関する学習や米作りを行っている。児童が直接生産者から話を聞く機会もあり、地元の農業や食への関心が高まっている。
- 生産者を招いた会食会や生産者の畑での作物収穫などの体験学習を実施。
- 栄養教諭や調理員が生産者と定期的に話し合いの場を持つとともに、生産者の畑を訪問し、食育の資料を作成。
- 給食で出た残渣を利用した堆肥を使い、生産者は給食の野菜を栽培。

2 生産者や商店と連携した地場産物の確保

- 生産者グループ「アグリウーマン中津川」や市内の一般商店から中津川産の野菜を購入。20年度は品目数ベースで中津川産の野菜を65%使用。

3 児童や保護者等への情報提供

- 給食時の教室訪問や校内放送により、給食で使用されている地元産食材を紹介。
- 給食試食会や地域公民館での給食展、市の農業祭などにおいて、保護者や地域住民に給食での取組を紹介。

